

技術情報誌「テクノリッジ308号」を発行しました



テクノリッジは、和歌山県工業技術センターの技術情報誌として年間4回、その時々情報を関連企業の方々にお知らせする情報誌です。

現在、県内外の企業や団体、約300社に送付しご愛読いただいています。今回発行の308号では「特集 感覚をとらえる」と題して以下の内容を掲載しています。

- ・ 巻頭言
 - ・ 繊維の風合い測定
 - ・ サラサラ、ドロドロを表現する
 - ・ マヨネーズらしさをマネするために
 - ・ パスタ麺の食感評価
 - ・ CAEで感覚の要因をとらえ、設計に活かす
 - ・ 陸上競技場グラウンドの感覚
- ・ (テクノcoffee break) 有機化学工業の先駆け

本号では『感覚をとらえる』と題して、私たちが「感覚で曖昧に捉えている」ものを「客観的な数値で把握する」ことで見えてくるものについて特集しました。具体的には、繊維製品の手触りや肌ざわり、着心地などの触れた時に感じる「風合い」、マーガリンや蜂蜜、塗料などの「塗りやすさ」、マヨネーズや麺などの「食感」について、測定事例を交えて解説しています。また、人間の感覚を考慮した機械部品の設計を行うための、「コンピューターシミュレーション」の活用についても紹介しています。

本稿をお読みになり、感覚計測を身近なものとして感じていただければ幸いです。

※ なお、詳細については下記のURLをご参照ください。

[☞ センターの刊行物](#)

掲載日付: 2015 年 09 月 01 日